

●凡例…**日**日時(日程)、**所**会場・場所、**内**内容、**人**対象・定員、**講**講師、**出**出演、**費**費用(記載の無い催しは無料)、**持**持ち物、**申**申し込み、**問**問い合わせ

市民のひろば

【丹波の朝採り有機野菜市】

日5月2日・10日・16日・24日・30日(水・木)10時～**所**&**問**ワークホームつつじ・仁頃(☎22-7044)

【おはなし作りの部屋】

日5月2日・9日・23日・30日(水)10時～12時**所**図書館 **問**ぶりん・岡山(☎31-6801)

【十代のためのやすらぎの部屋】

日5月5日・19日(土)13時～16時30分**所**図書館 **人**中高生 **問**ヨッシーくらぶ・守上(☎23-6854)

【母と子のいこいの部屋】

日5月8日・15日・22日・29日(火)10時～11時30分**所**図書館 **人**0歳～未就園児と保護者 **問**バルーン・津田(☎32-2610)

【団塊世代の新ライブ塾】

日5月6日・20日(日)14時～16時30分**所**市民センター **人**先着10人 **費**500円**申**&**問**サポート結(☎/FAX31-8389)

【フォークダンスのお誘い】

日5月7日(月)※毎週月曜日(全8回)9時30分～11時50分**所**市民センター **人**市内在住・60歳未満の女性 **費**月額2,000円・保険料800円・テキスト代600円 **申**&**問**高橋(☎31-7771)

【運動遊びすくすく教室体験会】

日5月10日・17日・24日(木)10時～11時**所**体育館・青少年センター **人**2歳～未就園児と保護者 **申**&**問**井上(☎23-5114)

【浜風の家 5月のイベント】

日①5月12日(土)13時30分～15時②19日(土)13時30分～15時30分③26日(土)13時30分～15時30分 **内**①1日工作教室(フェルトで作る小物入れ)②風車作り③段ボールで太鼓 **人**①4歳以上②5歳以上③小学3年生以上 **問**いずれも要予約 **問**浜風の家(☎35-5700)

【高齢者のための無料気功教室】

日5月12日(土)9時30分～11時**所**体育館柔道場 **内**気功・ストレッチ **申**直接会場へ **問**団体友の会・高田(☎35-6015)

【芦屋17℃倶楽部の催し】

日①5月12日(土)②17日(木)③28日(月)①③10時～12時②13時30分～16時 **内**①ストレッチ②煎茶を楽しむ③脳げんき会 **費**②500円③200円 **所**&**問**芦屋17℃倶楽部・山野(☎35-0425※当日は☎35-2500)

【講座「歌風土記 兵庫県」】

日5月13日(日)13時30分～**所**富田碎花旧居 **講**和田英子氏 **費**500円(資料代) **申**&**問**角野(☎090-8825-1292)

【折り紙教室】

日5月16日(水)10時～12時**所**図書館 **人**一般成人 **問**段谷(☎34-2546)

【市民ハイキング】

日5月13日(日)8時30分～**所**J R芦屋駅→須磨浦公園→旗振山→横尾山→高取山→鴨越駅 **費**400円(別途交通費) **申**&**問**芦屋登山会・田中(☎31-2626)

【あしや文学同好会の講座】

日5月18日～9月21日(第3金曜日)10時～11時30分**所**市民センター218室 **内**日本美術の名作を読み解く **費**6,500円(5カ月分) **問**廣瀬(☎0798-74-3928)

【明日の家族を考える会】

日5月19日(土)14時～15時30分(13時30分開場) **内**中国・独龍(トールン)族の暮らし**所**市民センター218室 **人**60人 **申**&**問**明日の家族を考える会・中村(☎/FAX23-2488)

【コミュニティビジネス相談会】

日5月18日(金)13時～17時**所**子育て支援センターぶらっと **内**NPO活動やコミュニティビジネスに関する相談会 **申**&**問**さんびいず(☎22-8896)

【芦屋みどり福祉作業所のお知らせ】

日&**内**①5月26日(土)・27日(日)10時～15時(バザー用品提供のお願い)②事務員募集(月～金、9時～16時/時給1,000円・交通費・社保有) **人**②簿記3級、パソコンのできるかた1人 **問**みどり福祉作業所・大澤(☎31-4001)

【あしや村でのエコキャンプ】

日5月27日(日)14時～17時**所**芦有ゲート付近集合 **内**パイオトイレの基材作り **人**50組(親子参加可) **申**&**問**さんびいず(☎22-8896)

【ACA語学教室】

日①毎週月曜日10時～11時45分②毎週水曜日13時～14時45分**所**ACA **内**①英語(中学程度)②中国語会話 **費**①月額4,000円(4～7月分前納)②全20回28,000円・①②とも年会費2,000円 **申**&**問**国際交流協会(☎34-6340)

【「第九 in 芦屋」合同練習】

日6月8日～(金曜日中心・月3回程度)19時15分～21時15分**所**セシリアサロンクラシックホール **内**「第九」合唱練習 **費**月額2,000円 **申**&**問**芦屋芸術村・篠原(☎35-5889)

【フラダンス講習会募集】

日6月8日・15日・22日・29日(金)15時～16時30分**所**体育館・青少年センター **内**女性初心者対象のフラダンスレッスン **人**30人 **費**3,000円(4回分) **申**はがきに住所・氏名・電話番号を記入し、下記へ**問**橋本(☎090-1714-3343 〒659-0025 浜町12-19)

【芦屋市民ゴルフデー参加者募集】

日6月29日・7月20日・8月1日・9月28日・10月26日・11月22日 **人**市内在住在勤満20歳以上 **費**13,180円(6～8月)・14,760円(9～11月) **申**希望日の10日前までに往復はがき(1枚で4人まで)に全員の氏名、住所、生年月日、電話番号記入し右記へ **問**芦屋カンツリー倶楽部(☎31-0501 〒659-0002 奥山1-25)

谷崎潤一郎記念館の催し

【ロビーギャラリー】山田洋子「花・はな・華」フローラルアクリルアート展

■展示期間 4月26日～5月20日<月曜日休館>午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで。※最終日は午後3時まで展示) **■展示内容** クリアな空間に広がる美しいアクリルアートの花の世界 **■作家** 大手前短期大学ライフデザイン総合学科准教授・山田洋子氏 **■入館料** 300円

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852
Eメール ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp



土中からのメッセージ

芦屋考古学再発見 29

郷土地名の考古学(4)

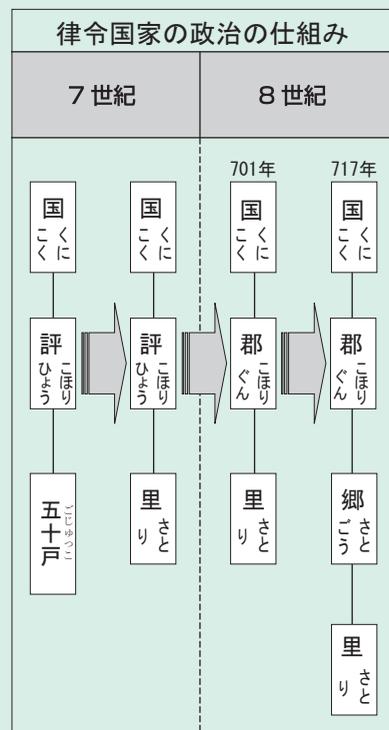
葦屋郷と賀美郷、古代の芦屋を考える

問い合わせ 生涯学習課 ☎319066

今回は摂津国菟原郡の構成郷として「葦屋郷」がみられることを説明しました。今の芦屋市の前身になりましたが、もう一つ賀美郷というものが登場し、おそらく現行市域と関わりがあるようです。

賀美郷は和名抄において、郡内の冒頭に出てきます。郡内でも最も近い位置にあるので、「上」に由来すると見てよいかもかもしれませんが、別の考え方をすれば、「川上」つまり芦屋川や夙川の川上という意味で名づけられた地名と見ることもできます。ただし、市内に「かみ」という地名は残っていません。

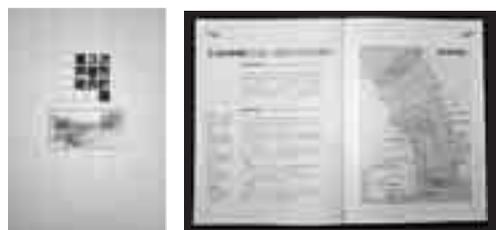
ここからは、日本古代における行政区画の「郷(七一年までは里)」とは一体どんなものであるかという点から考えていきたいと思います。日本古代史で有名な大化改新は、いろいろな改革が進められたことでよく知られていますが、本当に実行されたことは少ないということが最近の研究で分かっています。行政組織もその一つで、国一郡一里(郷)の制度も七〇一年以降に整備されたもので、七世紀は、国一評一里や国一評一五十戸の制が前身の機構としてありました。元号の成立も七〇一年の大宝律令の頃で、それ以前は干支年でした。したがって、六四五年の大化という元号も八世紀の『日本書紀』では使われていますが、七世紀にはありませんでした。



セットで使用される場合があり、一例として河内国安宿郡の賀美郷・奈加郷・資母郷の三郷などがあり、石川の流れが関係します。また、『播磨国風土記』にみえる「賀美」は、まさに「川上に居るに由りて、名を為す」と説明され、その後に「那珂」が発掘が進められています。

「資母」が新設されています。したがって、芦屋川の上流に賀美郷、下流に葦屋郷があったことも十分に考えられます。

芦屋のまちづくり計画「第3次芦屋市総合計画」を頒布



「第3次芦屋市総合計画」
計画年度:平成13年度～平成22年度
20.9cm×29.6cm/120頁/
頒布額 500円

問い合わせ 行政経営課 ☎38-2009

「第3次芦屋市総合計画」は、芦屋の将来像『知性と気品に輝く活力ある国際文化住宅都市』の建設を進めていくために、市民の皆さんと協働して取り組むための長期計画書です。

この在庫本を、行政情報コーナー(市役所北館1階)、ラポルテ市民サービスコーナーで頒布しています。

市制施行50周年記念写真集「芦屋のうつりかわり」を頒布

写真でみる芦屋の歴史

市制施行50周年(平成2年11月10日)に発行した記念写真集「芦屋のうつりかわり」の在庫本を、行政情報コーナー(市役所北館1階)、ラポルテ市民サービスコーナーで頒布しています。



「芦屋のうつりかわり」
21.6cm×30.5cm/135頁/
紙表紙・銀箔押し(ハードカバー)
頒布額 500円



六麓荘住宅地案内

問い合わせ 広報課 ☎38-2006